

宗像市市民参画等推進審議会

第5回第2次宗像市市民活動推進プラン策定専門部会

(会議内容要点筆記)

日 時	令和元年10月28日(月) 10:30~12:15
場 所	宗像市役所301会議室
委 員	■佐藤靖成 ■種田明美 ■福岡佐知子 ■東博子 ■山田明 (五十音順、敬称略)
事務局	コミュニティ協働推進課(中野、中脇、神)

1. 事務局あいさつ

本日は、第2次市民活動推進プランの最後の専門部会となる。忌憚のないご意見をいただきたい。

2. 会長あいさつ

本日の部会は、最後の大詰めとなる。色々なご意見をいただき、まとめていきたい。

3. プラン(案)について

第1~2章

事務局から指針(案)に基づき説明

《質疑応答等》

(意見) 市民の皆さんが、本指針を読んでまちづくりに関わりたくなるようになればと思う。

前半部分に概略をまとめて読み易くし、協働の領域や経緯背景などの細かい内容は、巻末にまとめてはどうか。

(意見) 全体が約40ページになったので、まちづくりに始めて関わる人にとっては、少し難しいかもしれない。詳細の説明は、資料編に、用語説明として入れてはどうか。

(意見) 当初は分かり易くまとめると言っていたが、だんだん難しくなっている。指針を読むことによってどうしてほしいかを意識してまとめた方がいいかもしれない。

(事務局) 本指針は手引き的なものにして、別途、ダイジェスト版を作りたい。

- (意見) 幅広く間口を広げて、参加・参画などに関わったことのない人にも手にとってもらいたい。そのためには、協働の領域などを最後に記載するなど、編集の工夫をする必要があるだろう。
- (意見) 第2章の見出しは堅いイメージがあるので、もう少し柔らかい方が良いと思う。
- (意見) 後半部分は、難しい用語が多いので、言い換える工夫をしてほしい。
- (意見) 全体としてスリム化した方がよいと思うが、5ページ目の「市民参画条例」の説明は、「現状・課題」を入れた方がよいのではないか。「現状・課題」としてパブコメの意見数や審議会の公募委員の数が少ないことなどを記載してはどうか。
- (意見) 市民サービス協働化提案制度についても、本市では、市民団体との協働事業が進んでいるので、どこかに記載してほしい。

第3章

事務局から指針（案）に基づき説明

《質疑応答等》

- (事務局) 先ほど、詳細は巻末にまとめてはどうかというご意見をいただいたが、関係法令等についても巻末にまとめてもいいかもしれない。
- (意見) 「宗像市子ども子育て支援計画」の巻末に関係法令をまとめているので、参考にしてほしい。
- (意見) 17ページは、詳しすぎるかもしれない。
- (意見) 21～22ページの「地域学校協働活動」では、例えば、「小学校の居場所づくり」や「絵本の読みきかせ」など、宗像の分かり易い具体例を挙げてほしい。
- (意見) 23ページについて、宗像は、全ての学校の敷地内に学童保育があり、比較的一定の水準が保たれていると思う。東京の商店街での学童保育については、現実問題として宗像の参考にならないかもしれないので、載せる必要はないのではないか。
- (意見) 21ページは、青少年育成がメインとなっている。しかし、国は、「乳幼児期」に関することも重点をおいている。国の動向としては、虐待などの社会問題が背景となり、国が平成24年に「子ども子育て支援法」を策定し、社会全体で子育てに取り組む流れとなった。幼児期と学校教育を分けて書いてはどうか。また、「宗像市子ども子育て支援計画」には、市民団体との協働にも書いてあるため、参考にしてほしい。
- (意見) 20ページのメッセージのタイトルは、「若い青年」という箇所少し違和感があるので、「未来を担う皆さんへ」に修正してはどうか。
- (意見) 第3章のタイトルは、「豊かな」を「住みよい」に、「地域づくり」を「まちづくり」などに修正してはどうか。「地域づくり」と書くと、既にできているから関係ないと思う人がいるのではないかと。それを「まちづくり」と書くと興味を持ってもらえると思う。地域と書いて「まち」とルビを打つのも良いと思う。

- (意見)「豊かな」という言葉は漠然としている。「住みよい」や「魅力ある」と書くとわくわくする。地域創造ビジネスの取組は、広報を見ると楽しそうに感じる。スペースがあれば、地域創造ビジネスの取組の写真も載せてほしい。
- (意見) 地域創造ビジネスの取組に関わっている人は、皆生き生きとしている。
- (意見) 元気で明るい表情の人の写真がたくさんあると良い。
- (意見) 取り組んでいる人たちの背中を1つ押すと、次に進む。コミュニティ運営協議会も面白いことをしているなどと思ってもらえると良い。

第4章

事務局から指針（案）に基づき説明

《質疑応答等》

- (意見) 第4章のタイトルが堅いので、「参加、参画、協働のために」などにしてはどうか。
- (意見) 推進目標の表記は、「メニュー1、2…」など、親しみ易い表現にしてはどうか。
- (意見) 31ページの課題について、まちづくりに対する認識が低いという現状を、知っている人が「市民の20%に満たず」や、知らない人が「市民の60%を超えている」などのマイナスな表現にすると、これを読んだ市民ががっかりするのではないかと。「知らない人がまだこんなにいるんだ」というプラス思考になれる表現してはどうか。
- (意見) 31ページの団体の課題は、具体例を入れて、市民がこれを読んで「これなら自分も関われるかも」と思ってもらえるようにしてはどうか。
- (意見) 全体的にQRコードを入れて、各施設をすぐ調べて行動に移せるようにしてはどうか。
- (意見) 市民アンケートに「あなたはこの1年間に地域のイベントに参加したことがありますか」という質問があり、参加したことがあると答えた人が、平成28年は40%だったのが、平成30年には50%に増えていた。これは、この間に発生した熊本地震の影響もあるのではないかと。地域に興味を持つ人が増えているということをアピールしても良いのではないかと。
- (意見) イベントに参加している人が、周りに声をかけて、興味を持つ人が徐々に増えているということもあるのかもしれない。
- (意見) 写真をたくさん入れると効果的かもしれない。
- (意見) 推進目標5を、「市職員も学んで動きます」という表現で締めてはどうか。
- (事務局) 本指針は、期間を設けない予定である。指針の基本的なところは、今後も大きく変化しないと考える。ただし、必要に応じて、参画審の意見をふまえるなどして、適宜見直しをしたい。

全体

《質疑応答等》

- (意見) 一般的に本の目次は、目次を見ると全体が分かるようになっている。本指針は、全体の串刺しがまだできていないように思う。本指針について審議し始めた当初は、「分かり易さ」というところから始まった気がしたが、今の構成は、全部読まないと分からないような気になる。ストーリー性を考えて編集した方が良い。特に、第4章は、本指針の肝だと思うが、今の構成では、付属品のような気がする。
- (意見) 今回の指針のように全てを網羅したものと、エッセンスをとってくださった表現で分かり易くしたものは、別々にあった方が良いと思う。それぞれが互いのこのページにあたるというように、連動させると良い。自治体でよく作成している両面1枚刷りのダイジェスト版は分かりづらいので、それよりも少しボリュームのあるものを作成してはどうか。
- (意見) 「地域づくり」と「まちづくり」という言葉が混同している。社会教育は少し前まで古いものだと思われていたが、10年くらい前から見直されてきている。「地域」という言葉は、イコール「コミュニティ」であり、「まちづくり」という言葉は、イコール「タウン」である。社会教育の中では、近年、「地域」というものが大事になってきており、「地域」と「まちづくり」の言葉の使い方の議論が起こっている。「そういった議論がある」ということは書いてもいいかもしれない。
- (意見) 「はじめに」の量を半分にして、タイトルの説明とプランの位置づけを下半分に入れてはどうか。

イラスト

《質疑応答等》

- (意見) 幅広い年齢の方に、本指針を見て手に取ってもらえるイラストだと良いと思う。

タイトル

《質疑応答等》

- (意見)
- ・住みよい、魅力ある宗像づくり。
 - ・「まちづくり」より「むなかたづくり」の表現が良い。
 - ・「ムナカタ カタロウ」がとっつきやすく、頭から離れない。
 - ・「ムナカタロウ」とするなら、「ムナカタ」に「宗像」と漢字のルビがほしい。
 - ・愛着を持って呼べるものが良い。

- ・サブタイトルが長くなるので、サブタイトルの「市民」は全てとった方が良い。
 - ・「宗像、カタロウ」とすると、「宗像を語ろう」、「宗像にかたろう（加わろう）」という意味を持つ。これをメインタイトルとし、サブタイトルを「～参加・参画・協働による魅力ある地域づくりの基本指針～」としてはどうか。
- （事務局）「宗像、カタロウ」に、「宗像を語ろう」、「宗像にかたろう（加わろう）」という思いがあることを、指針のどこかに説明書きしたい。

おわりに

（事務局）「おわりに」の部分に、委員の皆さんの思いを入れたい。会長にまとめていただきたい。

全体

4. その他

（事務局）次回、全体会を１２月に開催したい。
また、本日いただいた内容をもとに修正を行い、整理ができ次第、修正版を皆さんにメールでお送りする。

＝ 散 会 ＝